

平成 29 年 2 月発行

# 第 44 号

発行 有田川町議会  
発行責任者 議長 佐々木 裕哲  
住所 〒 643-0021  
和歌山県有田郡有田川町  
大字下津野 2018 番地 4  
TEL 0737-52-2111  
FAX 0737-52-2198

<http://www.town.aridagawa.lg.jp/profile/gikaikoho.html>

# 有田川町議会広報 かわら版



## 今年も元気で4世代の春

一般質問	.....	3 ~ 8
議案・質疑	.....	9 ~ 13
決算認定	.....	14 ~ 15
委員会レポート	.....	16 ~ 17

# 新年のごあいさつ

住みよいまちづくりをめざして



副議長  
岡 省 吾



議 長  
佐々木 裕 哲

新年明けましておめでとございます。

町民の皆さまには、輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。また、昨年中は皆さまのご支援により、議員活動に精励できましたことに、心からお礼申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、リオで開催されたオリンピック・パラリンピックでの日本人の活躍に、2020年東京オリンピック・パラリンピックへの夢と期待が膨らむ一年でありました。一方では、4月の熊本地震や10

月の鳥取県中部地震など、各地で甚大な被害が発生しました。被災された皆さま方に心よりお見舞いを申し上げるとともに、近い将来発生するといわれている南海トラフ巨大地震に備え、議会としましても町当局と一体になり、防災対策に尽力してまいりたいと思います。

そうした中、わが町では、きび森の保育所が開所し、新たな子育て支援への取り組みも始まったところであります。少子高齢化・過疎化が進む中、人口減少を食い止める、住民の福祉向上と、安心安全のまちづくりをめざして、町民の代表としての認識に立ち、皆さまのご意見を町政に反映させるべく、全力を尽くしたいと思っております。どうか本年も変わらぬご支援とご協力をたまわれますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年が皆さまにとって明るく素晴らしい年となりますよう、また益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

## 平成28年9月議会以降の委員会活動

月 日	委員会名	出 席 者
9月29日	議会広報編集特別委員会	委員6人、議長
10月 6日	議会運営委員会	委員5人、議長
10月 6日	議会広報編集特別委員会	委員5人、議長
10月 7日	議会活性化調査特別委員会	委員7人、議長
10月13日	議会広報編集特別委員会	委員5人、議長
10月26日	議会広報編集特別委員会研修（東京）	委員5人
11月 2日	決算審査特別委員会	委員14人、議長
11月 4日	決算審査特別委員会	委員14人
11月24日、25日	総務文教福祉常任委員会（視察－箕面市・小矢部市）	委員8人（うち議長も含む）
11月28日	議会活性化調査特別委員会	委員8人、議長
11月30日	議会運営委員会	委員6人、議長
11月30日	下水道事業対策特別委員会	委員9人（うち議長も含む）
12月 6日	議会広報編集特別委員会	委員6人、議長
12月 7日	総務文教福祉常任委員会	委員8人（うち議長も含む）
12月 8日	産業建設住民常任委員会	委員8人、議長
12月14日	議会運営委員会	委員6人、議長
12月20日	議会運営委員会	委員6人、議長
12月26日	議会広報編集特別委員会	委員5人、議長

# 「次世代エネルギーパーク計画」に認定！ 新エネルギー大賞 銀賞も受賞！

～ エコの町「有田川町」を全国に発信！～

- |        |     |   |      |
|--------|-----|---|------|
| 1. 殿 井 | 堯   | … | 4ページ |
| 2. 辻 岡 | 俊 明 | … | 5ページ |
| 3. 小 林 | 英 世 | … | 6ページ |
| 4. 増 谷 | 憲   | … | 7ページ |
| 5. 堀 江 | 眞智子 | … | 8ページ |

有田川町議会平成29年第1回定例会は、3月2日開会の予定で、一般質問は3月15日・16日に予定されています。

平成28年第4回定例会は、12月6日から20日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案は、原案の通り可決しました。なお、平成27年度決算も認定しました。

## 5 議員が質問

# 一 般 質 問



# 里道水路の補修対策 機構改革の成果は



殿 井 堯

### 里道水路の補修対策は

町 長  
さまざまな問題について検討していく

質 問  
ため池から水田への水路壁は石垣積みになっている。年数の経過とともに、崩壊や水があふれるなどの問題が生じている。

里道水路は地元区の管理となっているため、維持していくには厳しい状況がある。支援対策を問う。

町 長  
里道は、地元区に維持管理をしてもらっている。

災害などによる被害が生じた場合、生コンなどの支給を行い、地元区民に補修をお願いしている。町として、補修や復旧などの政策は今のところ考えていない。今後、後継者不足などから維持管理のあり方を検討していかなければならない。



石垣が崩壊している水路

質 問  
里道は、いたるところにあり、この補修を

すると膨大な予算が発生する。

また、地元区民での補修には限界がある。

県の補助金などを使い、対策を考えていく必要があるのではないか。

建設環境部長  
県の補助事業などで検討していく。

### 機構改革の成果は

町 長  
効率的に運営でき問題に早く対応できる

質 問  
平成24年度に部長制度（機構改革）を取り

入れ5年が経過した。

意思決定が早くできるように取り入れられた組織改革である。

その成果と今後の見通しはどうか。

町 長  
部長制度を取り入れ、決裁の権限を部長に与え、効率的に運営できるようにになった。

今後もこのような体制で、各部長が軸になり、早期に問題が解決できるよう努めていく。

質 問  
部長制にすることにより、職員同士の意思疎通がうまくいっているように思われる。

例えば、二川ダムの小水力発電などは、その成果を大きくあげているのではないか。

今後大いに期待している。

建設環境部長  
二川ダムの小水力発電は年間目標4370万円程度の収入を見込んでいます。

現時点で稼働して9ヵ月程になるが、3630万円の収入がある。

経費を引いた収益は、学校教育や自然エネルギー事業などに充てることを考えています。



注目をあつめている二川小水力発電所



# 危険な「ため池」の対策はどうか 金屋テニス公園施設整備改修を

辻 岡 俊 明

**危険な「ため池」対策は**  
町長 危険度の高い池から改修する

**質問** 県と市町村は、県内の「ため池」2190カ所を点検した。その中で特に危険性が高く詳細な調査が必要な「ため池」が110カ所ある。そこで平成29年度より、この110カ所の「ため池」について、詳細な調査を行い、改修工事の方法を検討することになっている。町内にはこれに該当する「ため池」は何カ所あるのか。

また、その改修工事の費用分担はどのようなのか。

**町長** 町内では、134カ所を調査し、特に危険性が高く、優先的に詳細調査が必要な「ため池」は計5カ所ある。

「ため池」改修工事は県営農村地域防災減災事業として取り組んでいる。費用分担は、全面改修の場合、国が55%、県が35%、町と受益者が各5%となる。

部分改修の場合は、国が55%、県が40%、町と受益者が各25%となる。

**建設環境部長** 5カ所の「ため池」は、吉備地区内にある「矢熊池」、金屋地区内にある「三ツ池下」「九鬼の登池」「小川の新池」「能蔵上池」である。

「矢熊池」「三ツ池下」「小川の新池」は詳細な調査を要望予定である。

「九鬼の登池」は、下流域に人家がないので検討中。

「能蔵上池」は親子池であり、「能蔵下池」では、部分改修工事を実施しているので上池の水位を下げる方向で地元と協議中である。

**金屋テニス公園施設整備改修は**

町長 大規模改修時に女子トイレ増設

**質問** 10面あるテニスコートは、よく整備され、利用料金が安いこともあって、年間利用者数は2万人余りを数えている。ところが、クラブハウス内の女性用トイレは、便器が2基しかなく、大会時に大変不便である。トイレ増設を希望する多くの声にどう応えているのか。

一方、建屋内などには、現在使われていないトイレが2基あるので、混雑時はこの2カ所の利用を勧めて状況を見る。

**質問** コート上で不慮の事故や不都合なことが起こっても、管理人室からは見えず、即座に対応できない。

南側に管理人室を移せば、コートが見渡せて管理面でも大変よいと思うが、町長の考えを聞く。

**町長** 管理人室には、電気設備、制御盤などが集中しているため、移設には多額の費用が必要となる。

将来的には、大規模改修時に女子トイレ増設と併せて検討したい。



金屋テニス公園クラブハウス

# 次世代エネルギーパーク ふるさと納税



小林英世

**次世代エネルギーパーク  
今後の計画は**

**町長**  
観光と教育にも

**質問** 平成28年11月、有田川町が、次世代エネルギーパークとして、経済産業省資源エネルギー庁から認定された。今後どのような計画を実施するのか。

**町長** 全国で64番目、和歌山では2番目、今年度認定されたのは本町だけであった。

旧吉備町時代の風車に始まり、大規模風力発電の誘致、太陽光発電、温水器の設置補助、小水力発電など多岐に取り組んでいる。

さらに、ゴミの分別を進め資源再利用の取り組みも評価された。

今後、認定にあわせて次世代エネルギーの設置に取り組みと同時に、観光や教育に生かしたい。

**質問** 観光や教育にどう活用するのか。

**町長** 観光は、再エネ施設と従来の観光施設を結びつけ、さらに有田地域全体を含むルートをつくりたい。

教育は、副読本に教材として掲載する。再エネや省エネの理解が進むよう取り組む。

**木質バイオマスは**

**町長**  
活用を検討する

**質問** 今回の認定された計画書には、木質バイオマスの利用が含まれていない。

木質バイオマスは、発電や熱源として全国各地で利用されている。

豊かな森林資源を活用するためにも検討すべきだ。

**町長** 木質バイオマスはカーボンニュートラル(※)として注目している。

施設更新時、選択肢の一つとして検討したい。

**LED化加速を**

**町長**  
予算を2倍に

**質問** 今回の認定を機に、防犯灯のLED化を加速させてはどうか。

**町長** LED化の来年度予算を2倍にした。平成34年度には町内すべての防犯灯をLEDにしたい。

**ふるさと納税**

**町長**  
活用を検討するが難しい

**質問** ふるさと納税は、謝礼品競争になつている

面もあるが、本町のPRにもなり、経済効果もある。

しかし本来は、ふるさとを応援する制度なので、謝礼品目当でなく、ふるさと応援の納税を増やす

取り組みも必要ではないか。

例えば、奨学金制度を創設し、ふるさと納税で運用するのはどうか。

**町長** 創設となれば基準の設定、審査、償還などの事務が多岐にわたり膨大になる。

また、ふるさと納税が将来的、経常的に安定した収入であるかどうか考慮し、総合的に判断すること、町独自に創設することは困難である。

ふるさと納税と切り離して検討する余地はある。

**質問** 中学生海外研修の財源として使えないのか。

**町長** 中学生海外研修の財源は、合併地域振興基金を今後も活用する。

**要望** 固定観念にとらわれず、柔軟に検討されたい。

※排出されるCO<sub>2</sub>と吸収されるCO<sub>2</sub>が同じ量とする考え。

# 医療、介護の抑制では 住民の命は守れない



## 増 谷 憲

要支援1・2の方の  
今後は

福祉保健部長  
平成29年度は今の  
サービスを続けたい

**質問** ホームヘルパーに  
来てもらうサービスや、  
特養施設などへ行くデイ  
サービスは、平成30年度  
から始まる新しい事業計  
画（3年間）の中で、報  
酬単価の切り下げや上限  
額の設定が計画されてい  
るため、現行と同じサー  
ビスを受けられなくなる  
のでは。

**福祉保健部長** 平成29年  
度は現行水準のサービス  
を続けていきたい。

**質問** 和歌山県は、要介  
護認定率が全国トップで  
あるため、介護サービス  
を受ける人を減らそうと  
している。

**国**は、介護認定率を引  
き下げたところへは、補  
助金を増額する。

認定率を下げるために  
その人の状態を考えず強

引な自立への取り組みを  
しないよう求める。

**福祉保健部長** 一人ひと  
りの状態にあったサービ  
スを提供するので強引に  
進めることはない。



特別養護老人ホームしみず園

**質問** 平成30年度からの  
介護保険基準額はいくら  
になるか。

**福祉保健部長** 今のところ  
基準額の想定は行って  
いない。

国保の税額はいくらにな  
るのか

住民税務部長  
今の税額とあまり  
変わらない

**質問** 平成30年度から国

保運営の中心を県が担う。

今後、県は税額の目安  
を示すことになっている  
が、国保税はいくらにな  
るのか。

**住民税務部長** 県下の税  
の水準からみて、今の税  
額とあまり変わらない。

**質問** 国保基金を使い、  
1世帯1万円の国保税引  
き下げを求める。

**町長** 現状のままでもいい  
たい。収支で余剰金が出  
れば税を抑えたい。

**質問** 医療費抑制のため、  
適正化計画ではどんなこ  
とをするのか。

**住民税務部長** 特定健診  
受診率のアップ、ジェネ  
リック医薬品の利用促進  
などである。

薪ストーブ設置の助成制  
度を

町長  
間伐材利用につな  
がれば考えたい

**質問** 間伐材の90%以上  
が山に放置されている。



薪ストーブの普及を

これを熱源とする、薪ス  
トーブの設置補助を創設  
されたい。

岩手県西和賀町では、  
全世帯の半分に設置する  
取り組みをしている。

また、煙などの対策に  
は、木質バイオマススト  
ーブ普及のための環境ガ  
イドラインで対応できる。

**町長** 間伐材の利用につ  
ながるのであれば進めた  
い。

さらに温泉施設の改修  
時には、木質バイオマス  
ボイラーの設置を考えて  
いる。

# 「部落差別解消推進法案」の認識を問う



堀 江 眞 智 子

実態調査が義務付けられているが

町 長  
わが町に  
同和地区はない

**質問** 国と地方自治体の同和対策事業は、32年間で16兆円が費やされ、部落問題は、ほぼ解決できる段階に至った。

しかし、今回の議員立法の「部落差別解消推進法案」は、これまでの取り組みに逆行するもの。表現の自由を侵害し、私的制裁そのものである「糾弾」を合法化し、国民的融合をとげていくときに大きな妨げとなるのではないか。

旧吉備町では、1970年に国のモデル事業「ドーン計画」が実施された。

それが、現在の有田川町の発展に大きく寄与していることは言うまでもない。

参議院法務委員会での

参考人質疑で、「同和事業が最終し14年も経過すると、いまや同和関係者などを特定することは困難だ。部落差別は、今日ではすでに消滅及び過去の歴史的概念になりつつあり、実体として現実を把握しづらい」と指摘されている。

法案に明記されている実態調査は、旧同和地区

住民を洗い出し、行き過ぎた意識調査によってそれ自体が国民の心情を侵し、分け隔てなく生活している住民の間に新たな壁をつくり出す危険性がある。

そこで今回の法案について、町長はどのような認識と見解をもたれているのか。

町長 同和問題は、全国



ドーン計画の記録「夜明けをめざして」

有田川町は、基本的な人権の尊重を主眼にいろいろな取り組みをこれからもやっていきたい。

ここ何年か国や県から地域に対するアンケートが来たが、一貫して「うちの町に同和地区はない回答は控える」という方向でやってきた。今まで苦勞して同和問題を完結してくれた方々のためにも、うちの町はこれからもその方向で進んでいく。

**質問** 町長は今後もこの姿勢でいくのか。  
町長 その通りである。

# 台風16号による災害復旧関連事業費に5,212万円 金屋中学校トイレなど改修工事費に3,000万円

## ◎一般会計補正予算（第5号） 1億2,322万5千円

【主な事業を紹介します】

単位 万円

項 目	金 額	主 な 事 業
総 務 費	情報通信基盤施設費	690 関西電力電柱移設に伴う委託費
	過疎対策費	500 旧消防庁舎棟改修工事 (シルバー人材事務所以外に集会所としても活用)
	地域住民生活緊急支援交付金事業費	1650 旧田殿保育所改修工事 (地域活性化施設として活用するため)
民 生 費	社会福祉総務費	9900 臨時福祉給付金支給 (住民税非課税の方を対象 約6600人)
衛 生 費	環境衛生費	224 アレックで省エネルギーに関するイベントを開催
商 工 費	観光費	71 さがりの滝 [上湯川] 周辺整備 (観光協会補助)
教 育 費	小学校管理費	965 八幡小、石垣小の学級新設などのため
	中学校管理費	375 八幡中の学級新設などのため
	学校建設費	3000 金屋中トイレ改修工事 (2階、3階のトイレ洋式化)

## ◎その他の補正予算

単位 万円

項 目	金 額	主 な 事 業
一般会計補正予算（第3号）	5,212	台風16号による災害復旧事業
一般会計補正予算（第4号）	1,805	職員給与の改正
国民健康保険事業特別会計（第3号）	46	〃
後期高齢者医療特別会計（第2号）	9	〃
介護保険事業特別会計（第2号）	48	〃
簡易水道事業特別会計（第2号）	31	〃
公共下水道事業特別会計（第2号）	32	〃
農業集落排水事業特別会計（第2号）	15	〃
国民健康保険事業特別会計（第4号）	24,807	療養給付費の増
後期高齢者医療特別会計（第3号）	1,393	広域連合負担金の増
公共下水道事業特別会計（第3号）	6,000	下水道工事箇所を増
かなや明恵峡温泉特別会計（第1号）	263	券売機、更衣ロッカーの入替

# 一般会計補正予算 第5号 質疑

## 旧田殿保育所の改修内容は



旧田殿保育所 うら側



旧田殿保育所 正面から

**質疑** 旧田殿保育所改修は、工事費と測量設計費を入れて1650万円を

**総務政策部長** 予算化。今回の工事内容はどうか。施設内に

裏の道へ抜けられる通路を造る。トイレの改修工事や下水道の引き込み工事も行おう。

**質疑** この施設への投資は今回で終わりか。

**総務政策部長** 今後、大規模な改修などが必要になれば検討したい。

**質疑** 施設内の通路は必要か。通路の要望は区から出されたのか。

**総務政策部長** 地元と協議をする中で通路がほしいとなった。

**質疑** 施設全体の管理運営は町が行うのか。民間業者に委託するのか。

**総務政策部長** 民間業者にすべての施設を貸与して運営してもらう。

**質疑** 民間業者に貸与する場合、どんな業者にどのような基準で決めるのか。

**総務政策部長** 地方創生の考え方にあった運営を行える業者を公募したい。町内の業者に応募してほしい。

**【質疑】** テナントの利用は、どのような団体や個人を想定されるのか。

**総務政策部長** 地方創生の考えにつながる利用者と思っっている。

**【質疑】** 町は、貸与する民間業者から施設の使用料をとるのか。

**総務政策部長** 運営費は民間事業者が負担し、利益が出れば使用料をいただく。

当初は、ある程度の資金投資が必要となるので、一定期間の免除を考えている。

**【質疑】** 施設を使う起業家やテナントを出したい方は、使用料を貸与業者に払うのか。

**総務政策部長** 起業家などは、貸与業者に使用料を払う。

**【質疑】** 施設はいつからオープンされるのか。

**総務政策部長** 平成29年夏ごろにオープンを考えている。

## 保育所・小学校トイレ改修は



金屋中学校校舎トイレ

**【質疑】** 金屋中学校のトイレを洋式にする改修工事が予算化されているが、今後、小中学校、保育所のトイレ改修の見通しはどうか。

**教育部長** 小中学校全体で現在は、校舎42%、体育館30%の洋式化率。全国平均は43.3%。今後

も洋式化していきたい。**【質疑】** 藤並保育所のトイレ（便器）は十分設置されているのか。

**教育部長** 園児が増えて朝トイレに行くときに混雑すると聞いている。実情を調べて改修していきたい。

## 条例の一部改正

●職員給与に関する条例の一部改正

「人事院勧告により、勤手当支給額を年間0.1か月分引き上げ」

●職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

「人事院勧告により、育児休業等の対象となる子の範囲の見直し、介護休業の分割取得など」

●町税条例等の一部改正

「町民税における医療費控除の特例創設、環境性能に優れた軽四輪車等の普及にグリーン化特例の1年延長、延滞金の計算期間の見直しなど」

**【質疑】** 医薬品の購入についても医療費控除の特例措置が設けられたのか。

**住民税務部長** 個人住民税の医療費控除の特例措置について、現行の医療費控除は、所得の5%か10万円のどちらかの少ない方が控除の下限であった。上限額は200万円。

今回、新たに平成29年1月1日より平成33年12月31日までの間に健康診断などを受けていることを要件として、以前は医師が処方する医療用であった医薬品のうち、市販薬として薬局などで販売を許可された医薬品を購入した場合、その医薬品の購入額が年間1万2千円を超えた場合、8万8千円を限度に所得から控除する特例が新たに設けられた。

現行の医療費控除との選択により特例措置を適用する。施行は平成30年1月1日からである。

**【質疑】** 軽自動車税のグリーン化特例と実績について、内容はどうか。

**住民税務部長** グリーン化特例は、燃費性能が優れた車を最大75%減税する。平成28年度の実績は、新車登録656台中349台が特例対象車で、129万1000円の軽減。この特例措置を1年間延長する。平成29年度の見込みは約350台。



廃校になった安諦中学校

- 町立学校に関する条例の一部改正  
「安諦中学校廃校に伴う改正」
- 国民健康保険税条例の一部改正  
「所得税法の改正に伴うもの」
- 町財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例の一部改正  
「町普通財産の無償・減額貸し付けの項目に地域



環境センター（ゴミ処理施設）

活性化に資すると町長が認めるとき。を加える」

● 監査委員条例の一部改正  
「定例監査は毎年9月から行っていたのを8月に行うことにする。例月出納検査は毎月25日から月末までの間行っていたのを毎月20日から月末までの間に行うとする」

**規約の変更  
財産の処分**

● 有田周辺広域圏事務組合規約の改正に関する協議  
「新ゴミ処理施設に関する事務から広川町が脱退

することに伴うもの」

**【質疑】** 広川町が、新ゴミ処理施設建設費の膨らみで事務組合から抜けることになり残念だ。

新しいゴミ処理施設の建設は、最終的にいつ頃なるか。

**町長** 新ゴミ処理施設建設の見通しは難しい。できれば今の施設を改修し、

延命させて、使用しながら新ゴミ処理施設はじっくり考えていきたい。

**質疑** 仮に、新ゴミ処理施設の建設費が安くついて、広川町がもう一度加入させてくれと言ってきた場合どうするのか。

**町長** 分担金が少なくなつたからといって加入できないと考えている。今の時点で再加入はないと考える。

**質疑** 湯浅町・広川町の有衛ゴミ処理施設が使えなくなり、両町から有田周辺広域ゴミ処理施設への加入の申し入れがあったのではないか。

**町長** 平成23年6月22日の広域事務組合規約の変更に関する協議で、当町議会において湯浅町や広川町が加入することの承認をしている。

**質疑** 今回、広川町が抜けることへの感想はどうか。

**町長** 遺憾に思っており

残念である。

**質疑** 以前の概算建設費は53億円だったが、それが90億円から100億円になったので広川町は抜けることになった。1市2町では、さらに分担金が増えることになる。

今後、有田市と有田川町で今の施設の延命措置をとつてやるのか、あるいは有田市と有田川町、湯浅町で新ゴミ処理施設を建設するのか。

**町長** 私は管理者ではないが、新しいゴミ処理施設を造るときには他の場所で作るとなっている。今の施設を延命させて処理する場合、有田市と有田川町でやっていくことになると思う。

●有田周辺広域圏事務組合の財産処分  
「新ゴミ処理施設に関する事務の財産のうち、広川町が積み立ててきた基金を返還する」

### 道路線の認定・廃止

●町道1011号線の認定（下津野地内）  
延長93m、幅員6m

●町道インター歩道橋線の廃止（天満地内）



新興住宅地内の道路



取り外された歩道橋

### 人事案件

●教育委員会委員の任命  
同意

牛居美佐氏（再任）

有田川町天満



●人権擁護委員候補者の  
推薦同意

大西恭子氏（再任）

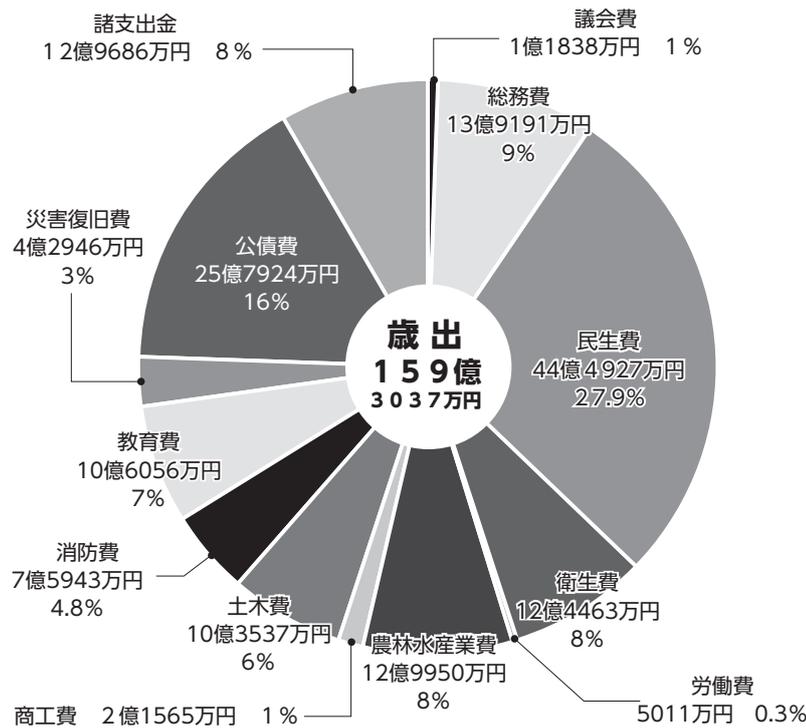
有田川町井谷

堀内尚視氏（新任）

有田川町二川

北林利樹氏（新任）

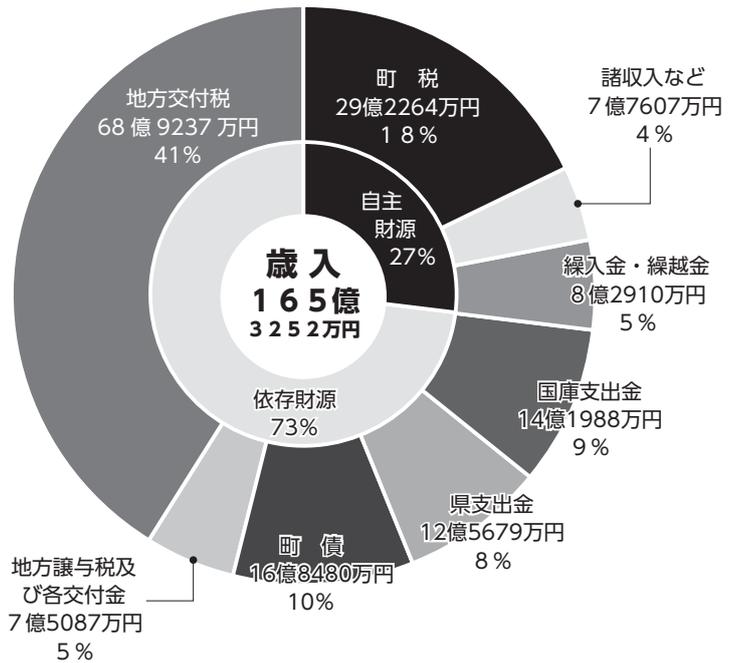
有田川町清水



平成27年度  
一般会計・特別会計  
**決算を認定**  
結果を  
次年度へ反映

なお歳入歳出との差額6億215万円は翌年度へ繰り越しています。

	決算質疑	答 弁
企画財政課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●過疎地バス路線を長期的に運行できる対策を求める。</li> <li>●ふるさと応援寄付金の見通しはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●補助金の見直しは、今後も継続していく。</li> <li>●今年度のふるさと応援寄付金は、前年比60%以下の約1億円。今後、謝礼品の数や取扱業者を増やしていきたい。</li> </ul>
総務課	電子計算機器の台数合理化はできるのか。	業務別に構成しなければならず、これ以上の台数を減らすことは難しい。
税務課	和歌山地方税回収機構の実績はどうか。	回収金額は409万円。町独自の差し押さえは163件、前年度比1.7倍
住民課	後期高齢者医療保険制度の9割や8.5割特例軽減を廃止した場合の影響は。	約3000人が対象で、その個人負担税の合計は約2680万円となる。
建設課	町営住宅の改修見通しは。	空き家になった時に補修を行う。しかし、清水地域の一部住宅は、建築年度の古いものから取り壊していく。
環境衛生課	小水力発電施設は、他の地域でも設置できないか。	難しい。しかし、民間業者が事業化に向けた調査を行っている。
下水道課	公共下水道事業債。返済のピークはいつか。	平成34年がピークで、その時の返済額は7億3000万円。平成59年に完済する見通し。
水道課	耐震性配水管の効果とコストは。	耐震効果はある。口径150ミリ以下なら、配水管のコストはあまり変わらない。
消防本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅用火災警報器の設置基準は。</li> <li>●消防職員の充足率はどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●寝室と寝室に通じる階段には必ず設置しなければならないが、台所だけに設置している家庭もある。</li> <li>●消防職員数は、国基準の63%で、今後70%まで引き上げたい。</li> </ul>



●平成27年度一般会計・各特別会計歳入歳出決算

審査の結果

一般会計・各特別会計歳入歳出の全決算を認定

決算審査特別委員会

委員長報告 橋爪 弘典

平成28年第3回定例会で付託された16件の平成27年度決算議案について、11月2日・4日に委員会で審査しました。

委員会は、議長、監査委員を除く14人の議員で構成し、各課主要施策の目標および成果報告書を中心に説明を求めました。おもな質疑と答弁内容を紹介します。

	決算質疑	答 弁
こども教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●田殿地区へ学童保育を設置する予定はあるのか。</li> <li>●きび森の保育所では、食堂は別棟にあるので、雨の日の移動時はぬれる。対応を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●予定はないが、農繁期には、藤並学童保育を利用している。</li> <li>●きび森の保育所の雨よけ対策は検討していく。</li> </ul>
社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成29年度から清水コミュニティセンター図書室を八幡中学校図書室へ統合するが、地元への十分な事前説明を行うよう求める。</li> <li>●公民館館長・主事を公募してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●検討したい。</li> <li>●今後検討していく。</li> </ul>
産業課	農業の6次産業化グランドデザインとは何か。	移住促進、特産物加工、農山村の自然や体験を楽しむグリーンツーリズム、有害獣対策の一環としてジビエの活用も考えている。
地籍調査課	町道敷地内個人名義の土地への対応は	名義変更手続等の対応は、建設課で行っている。
商工観光課	プレミアム商品券を発行する機会があれば、発行方法や町民への周知方法・時期について十分配慮するよう求める。	そのように対応したい。
長寿支援課	介護保険制度からはずれる要支援1, 2の方の対応を求める。	日常生活総合支援事業として市町村に移管されるが、基準は現行のままである。
健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乳幼児健康診査の受診率が100%になっていないが、どのように対応しているか。</li> <li>●特定健診の受診率は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乳幼児健康診査は保健師の訪問で対応している。</li> <li>●がん検診の受診率目標が35%、平成27年度では達成できなかったが、平成28年度は37%になる見込みである。</li> </ul>
やすらぎ福祉課	福祉避難所の体制は。	認識が違う施設もあり、再確認する。

委員会  
レポート

# 先進教育 共生型福祉を学ぶ

11月24日と25日に総務文教福祉常任委員会で行った政視察を行いました。

## 24日 先進教育を学ぶ

### 大阪府箕面市

・多文化交流センター

### ●小中一貫教育

有田川町の学園構想は、幼小中連携に重点を置いています。一方、箕面市では、各学年の連続性を重要視し、小中連携型と施設一体型の両方で大きな成果をあげているとのことでした。

しかし、学年の連続性を保つには、綿密な連携が必要であり、教員の多忙化が



ハット市中学生とビデオ通話を通じて交流

懸念されました。

### ●国際交流

箕面市と国際協力都市の中学生と、ビデオ通話サービス（現地と中継）を使って交流しました。画面の向こうでは、ハ

ット市の学生たちが、歌や踊りを披露し、質問を投げかけてくれました。ビデオ通話には、何千キロも離れた場所と同じ空間を共有できる魅力があります。小規模校ならではの課題を克服し、国際交流の推進など、大いに活用できるものと確信しました。

### ●ステップアップ調査

ステップアップ調査は、年2回、1年生（小1）から9年生（中3）までの全員を対象に実施しています。

子どもたちの学力や体力だけではなく、生活状況までも調査し、コンピュータを使って詳細な分析を行っています。

課題を明らかにし、授業改善や研修に活用していく積み重ねが、学年の進行をスムーズにし、小中一貫教育につながっていると思えました。

## 25日 共生型福祉を学ぶ

### 富山県小矢部市

・小矢部市役所  
・NPO法人

「わくわく小矢部」

### ●富山型デイサービス

年齢や障害の有無に関わりなく、誰でも住み慣れた地域で一緒にサービスが受けられる、それが富山型デイサービスです。このサービスは、平成5年に3人の女性の方が富山市で始められました。現在、全国で1498施設が、富山型デイサービスに登録されています。

### ●「わくわく小矢部」視察

「わくわく小矢部」は、閉鎖した病院の1階部分を利用し、民間非営利団体が運営する施設です。内部には、談話スペースやギャラリー喫茶を設け、子育て支援サービスも取り入れて、地域のいこいの場として工夫しています。



富山型デイサービスを実践する「わくわく小矢部」

経営状態は安定しており、地域に根ざした施設づくりを20人の職員で心がけているとのことでした。今後、福祉施策は、地域の支え合いと共生型社会の実現を求めていくと思います。富山型デイサービスはひとつのモデルとして非常に参考となりました。

総務文教福祉常任委員会

委員長 小井 英世

読まれて伝わる広報誌

平成28年度全国町村議会  
広報研修会

平成28年10月26日、東京のシエーンパツハ・サ  
ボ―で開催された全国町村議会広報研修会に参加  
しました。

今年は、全国から199町村議会、和歌山県内  
からは4町1村の議会が参加しました。

今回の町村議会広報研修会は、「分かりやすく、  
伝わる広報誌の表記」「読まれて、伝わる議会広  
報誌」というテーマで行われました。

また、広報コンクールで優秀賞の広報から企画  
編集について学びました。

分かりやすく、伝わる  
広報誌の表記

住民は、広報誌を讀ん  
でいないという前提に立  
つことが大事。そこから  
讀まれる広報にしなければ  
ならないと指摘します。  
讀まれるために文章の  
3つのマナーが必要だと

いいです。

1つめは、文章は短く

書くことです。

2つめは、言葉・意味

の重複を避けることだと

いいです。

3つめは、抽象的な表

現は避けて具体的に書く  
ことです。



研修を受ける当広報委員

読まれて、伝わる議会  
広報誌

議会広報誌の発行目的  
は、住民と議会との良好  
な関係づくりだと指摘し  
ます。

議会の役割を知っても  
らい関心を高め、ともに  
よりよい地域社会をつく  
っていくことにあるとい  
います。

優秀賞受賞議会広報  
から学ぶ

岩手県金ヶ崎町議会と  
山形県川西町議会の2誌  
から学びました。

金ヶ崎町議会広報は、  
発行のスピード化です。  
1カ月で住民の手に届  
きます。さらに、特別企  
画記事や住民をできるだ  
け登場させること、質問  
や議案質疑したあと、そ  
の後どうなったかの結果  
を載せています。

川西町議会広報は、広  
報モニター制をつくり、  
住民の中から8人を選ん  
で原稿を依頼しています。  
写真の愛好者や教育経  
験者に広報アドバイザー  
になってもらい、表紙の  
写真や記事のチェックを  
お願いしています。  
編集支援や情報提供、  
提言などの広報懇談会も  
行っています。

有田川町議会広報の  
改善点は

研修を通じて、常に住  
民の目線で紙面づくりを  
することが大事です。企  
画記事、議会で取り上げ  
た問題がその後どうなっ  
たかの追跡記事、住民が  
登場するコーナー、写真  
アドバイザー・モニター  
の設置、編集期間を短く  
し、早く発行する。これ  
らの課題に取り組んでい  
きたいと思います。



全国199町村議会が参加した研修会場

議会広報編集特別委員会  
委員長 増谷 憲



巖のライトアップ(粟生)  
写真提供 宮本幸児氏

👑 新春のひとコマ 👑



出初式 (明恵スポーツ公園)



新春マラソン (東グラウンド)

議会広報編集  
特別委員会

- ◎ 増谷 憲
  - 小林 英世
  - ◎ 辻岡 俊明
  - 林宣 吾
  - ◎ 谷畑 進
  - 岡省 吾
- ◎は委員長  
○は副委員長

求む!



広報委員会では、議会広報誌「かわら版」の表紙を飾る写真・イラストなど、町民の皆さんから募らせていただいております。  
有田川町の名所や風景など、お気軽にご応募ください。  
皆さんからのご意見、ご感想もお待ちしております。

編集後記

この号が皆さまのお手元に届く頃は2月初旬。改めて新春のお慶びを申し上げます。  
さて、新エネルギービジョンの方向性が昨今、脚光を浴びております。有田川町といたしましても、風力、太陽光・熱利用の促進、特に県下でも秀でたゴミの分別、二川小水力発電施設の建設などに取り組んできました。  
それらの試みがエコの町「有田川町」と評価され、このたび経産省から「次世代エネルギーパーク計画」の認定を受けました。  
これもひとえに皆さまのご協力があればこそ。今後ともお力添えをお願いいたします。  
平成29年酉年の本年。福をより多く取り込められる一年でありますようお祈りいたします。  
(岡 省吾)

お問い合わせ ☎ 521-2111  
吉備庁舎4階 議会事務局まで